

情報デザイン工学	教科	工業	単位数	2単位
	学科、学年、組		情報デザイン科 2学年 6組	
使用教科書	自作プリント			
副教材等	情報デザイン(実教出版株式会社)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、便利で人にやさしい社会を作る情報デザインの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 工業における情報デザインについて体系的・系統的に理解するとともに、工業に関する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 工業における課題を発見し、工業に携わる者として情報をデザインすることを通して合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 適切な情報のデザインを目指して自ら学び、工業の発展に必要な情報デザインに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	--

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	工業における情報デザインについて体系的・系統的に理解するとともに、工業に関する技術を身に付けられた。	40%	・定期考査、小テスト ・授業への取り組み状況 ・ノートや課題の内容
思考・判断・表現力	工業における課題を発見し、工業に携わる者として情報をデザインすることを通して合理的かつ創造的に解決する力を養えられた。	30%	・定期考査、小テスト ・授業への取り組み状況 ・ノートや課題の内容
主体的に学習に取り組む態度	適切な情報のデザインを目指して自ら学び、工業の発展に必要な情報デザインに主体的かつ協働的に取り組む態度を養えられた。	30%	・授業への取り組み状況 ・ノートや課題の内容

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインって何だろう ・何をデザインするのか ・デザインの造形要素 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインがどのように社会の中で役立っているのか考え、デザインを考える手順について理解する。 ・情報デザインの歴史や役割を学び、誰のためのデザインなのかを考え、コミュニケーションモデルについて理解する。 ・デザインの造形要素である、形態や色彩について学び、受け手側である人間の造形心理についても理解する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・観察から表現 ・造形要素の構成 ・デザインの検討 ・デザインの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察の目的や方法、視点について学び、表現技法を身に付ける。 ・空間の分割、レイアウトの基本原則、グリッドシステム、デザインの計画手順について学び、情報デザインを通じて相手に分かりやすく印象的に伝える技法について理解する。 ・情報を収集して課題を見つけ、アイデア出しを行い、コンセプトを考えながら情報を組み立てていく技術を身に付ける。 ・デザインが目指すものを考え、ビジュアルデザインやインタラクティブメディアデザインについて理解する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の理解を助けるデザイン ・ショップをデザインする ・空想デザイン会社 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルデザインによるデザインにより情報を相手に伝える技術を学び理解して表現することができる。 ・色々な表現媒体をデザインすることを学ぶ。 ・デザイン現場の制作ステップについて知り、現実感を持ってデザインについての理解を深めることができる。